



田 植

薫風が心地よく肌をなで、木々の若葉が萌え出ると、山あいの小さな村にもしだいに初夏の彩を放ってくる。

水ぬるむ小川には、タニシが道を描き、オタマジャクシが群をなして泳ぎ回っている。田んぼの畦には、乳飲児がおぼつかない手足を動かして、籠の中に飛び込んだ蛙と戯れている。

本田の代では、苗を植えつける田植の真最中。

紺の絆に赤だすき、そして白手拭を被り、紺の脚絆に菅笠といった早乙女の出立はもう語りぐさ、今はエプロンにゴム長の時世である。

でも、今も変らぬ年季の入った手さばきと、稚苗をいたわる心は、土に生きる農民魂そのものだ。

5月のおもな行事

- 1～2日 漁業サンセス関東静ブロック会議(東京都)
- 15～16日 関東ブロック統計主管課長会議(神奈川県)
労働力調査説明会(水戸市、取手市)
- 17日 労働力調査特別講習会(東京都)
全国消費実態調査事務担当者講習会(東京都)
- 18日 景気動向調査全国説明会議(東京都)
- 23～24日 事業所名簿整備ブロック会議(栃木県)
- 24～25日 北関東四県県民所得研究会(大洗町)
- 28～29日 関東ブロック統計主管課長会議(大洗町)
統計資料整備部会研修会(三重県)
国勢調査試験調査地方別事務打合せ(大洗町)
- 29～30日 農業センサス中央会議(東京都)
- 31～(翌日) 統計調査員研修会(福島県)